

富沢地区に 新たなまちづくり拠点誕生！



智頭町立富沢コミュニティセンター 「こもれびの里」

令和元年6月より整備が進められてきた智頭町立富沢コミュニティセンター（愛称「こもれびの里」）が完成しました。

この施設は、富沢地区の地域住民のための新たな拠点施設です。

整備にあたっては、「富沢地区の未来を考える」をテーマに住民ワークショップが開催され、その中で出てきた意見を色濃く取り入れた設計となっています。建材には、県産材をふんだんに使用し、木材の暖かみや親しみ、癒やし効果を感じることができるような施設です。

12月6日（日）には、関係者を集めた完成記念式典を、午後には一般内覧会を行い、完成を心待ちにしていた区民など、たくさんの方が訪れました。

今後、本施設は子どもから高齢者まで気軽に集える幅広い世代の交流や富沢地区の将来像を描いていく中心の場として活用されることが期待されています。

施設概要

- 敷地面積 4,436.56㎡
- 延べ面積 315.18㎡

建物概要

- 木造平屋建て 1棟
- 管理室
- 和室12畳、和室8畳（掘りごたつ）
- 洋間（こもれび広場）
- 図書スペース、資料室
- 更衣室、シャワー室